

第24回世界少年野球大会愛媛大会の開催

平成26年7月
一般財団法人世界少年野球推進財団

1. はじめに

一般財団法人世界少年野球推進財団は、日米のホームランキング王貞治、ハンク・アーロンの両氏が、野球を正しく全世界に普及、発展させるとともに、世界の子どもたちに友情と親善の輪を広げようとの趣旨で始めた世界少年野球大会を契機に設立された財団です。1992年に文部省（当時）から財団の設立が許可されましたが、任意団体としての活動は1990年から始めています。第1回世界少年野球大会を同年夏、アメリカ・ロサンゼルス市で開催して以来、毎年、日本を中心に各国・地域で開催しており、海外ではこれまでアメリカ、カナダ、プエルトリコ、台湾で開催しました。

少年少女たちへのスポーツの普及活動の充実は、青少年の健全育成に役立ち、未来を担う少年少女たちにとって、とても重要だと考えております。



2. 第24回世界少年野球大会愛媛大会の概要

第24回世界少年野球大会愛媛大会は、愛媛県松山市を中心に世界15か国・地域から少年少女たちを招待し、平成26年7月30日（水）から8月7日（木）までの9日間開催します。大会中、参加者たちは松山市野外活動センターで寝食を共にしながら、午前中に行われる野球教室や国際交流試合で、野球を通して親善を深めます。また、午後には愛媛県内各地での交流行事が計画され、文化を学ぶとともに地元の方々とも交流します。

(1) 野球教室

今年の野球教室には日本を含む13か国から125名の少年少女が参加します。

参加国はオーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インドネシア、モンゴル、ニュージーランド、スペイン、アメリカ、日本、そして、初参加のモザンビークです。午前中、参加者たちは国際野球連盟（IBAF）のコーチの指導で行われる野球教室で野球を楽しむとともに、基本を学びます。



（２）国際交流試合

中華台北と大韓民国から少年野球チームを招聘して、愛媛県の地元少年野球チームと国際交流試合を行います。試合はあくまで友好試合で、世界少年野球大会国際交流試合のルールに基づいて行われます。



（３）交流行事

野球教室と国際交流試合の参加者は午後の日程で、愛媛県や日本の文化を学びながら交流を深めることを目的に、県内各地で開催される交流行事に参加します。今年は、松山城見学（松山市）、肱川カヌー体験（大洲市）、八幡浜夜市とクルーズ体験（八幡浜市）、しまなみ海道橋上ウォーキングと郷土芸能体験（今治市）、愛媛県総合科学博物館見学が予定されています。



3. おわりに

多くの関係者の温かい協力によって、1990年にスタートした世界少年野球大会は今年で第24回目をむかえ、今年初参加のモザンビークを含めると、第1回大会以来の参加国・地域数は92となります。参加者数も5,000人を越え、参加者の中からは、海外ではオリンピック選手が誕生し、国内では甲子園に出場した人や高校野球の指導者、そしてプロ野球選手として活躍している人もおります。今後も、スポーツを通して、少年少女たちが夢や希望を持てる環境づくりの一環として、この活動を継続してまいります。

※写真は2013年の第23回世界少年野球大会福井大会の様子